

総合指数 6年ぶりの上昇

～平成26年福岡市消費者物価指数～

今月号の特集は、総務省統計局が公表している消費者物価指数について、福岡市の平成26年の結果を紹介します。

消費者物価指数とは、ある時点(基準年)に世帯で購入した様々な商品(財やサービス)と同じものを、別の年に買いそろえるのに必要な費用がどのように変化したかを指数値で表したものです。

基準は5年ごとに改定され、現在は平成22年を基準(指数=100)としています。

なお、消費者物価指数は消費税分を含めた消費者が実際に支払う価格を用いて作成されており、平成26年の結果には4月に消費税率が5%から8%に引き上げられた影響が含まれています。

「食料」「住居」等の10大費目別を見ると、指数が最も高いのは「光熱・水道」の114.3で、次いで「諸雑費」の108.1となっています。指数が最も低いのは「家具・家事用品」の89.9で、次に「教養娯楽」の96.7となっています。(表1、図1)

2. 中分類別指数の動き

①食料 前年と比べ、「魚介類」が9.1%上昇、ウエイトの大きい「外食」が2.7%上昇したことなどにより、全体で3.9%

1. 概況

福岡市の平成26年平均の消費者物価指数は、総合は101.9で前年比2.3%の上昇となり、全国の総合は102.8で前年比2.8%の上昇となりました。福岡市の総合指数は、6年ぶりの上昇となりました。

図1 消費者物価指数(総合)の推移

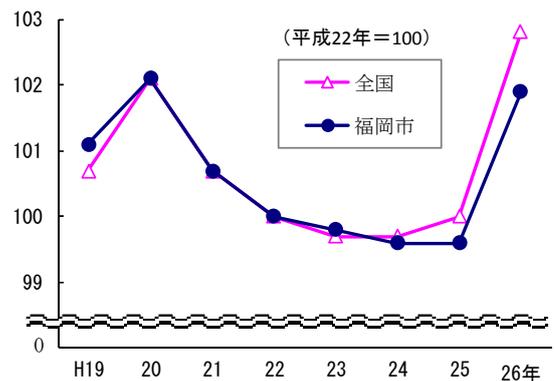


表1 消費者物価指数(10大費目)の推移

年	(平成22年=100)											
	総合	生鮮食品を除く総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成22年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
23年	99.8	99.8	99.6	101.1	102.0	90.8	97.4	99.2	101.4	98.5	96.7	103.5
24年	99.6	99.8	99.4	100.6	104.9	89.2	97.8	97.5	101.8	99.0	95.7	103.6
25年	99.6	99.9	98.8	98.8	108.7	88.9	98.7	97.3	103.3	99.4	94.3	104.8
26年	101.9	102.0	102.7	98.1	114.3	89.9	101.5	98.7	106.0	100.8	96.7	108.1
〃(全国)	102.8	102.7	103.4	99.1	119.3	93.1	102.2	99.0	105.6	100.6	97.0	108.6
	前年比(%)											
平成22年	△0.7	△1.0	△0.1	△0.8	△1.3	△4.0	0.0	△0.3	0.8	△9.3	△1.5	1.6
23年	△0.2	△0.2	△0.4	1.1	2.0	△9.2	△2.6	△0.8	1.4	△1.5	△3.3	3.5
24年	△0.2	0.0	△0.2	△0.5	2.8	△1.8	0.4	△1.7	0.4	0.5	△1.0	0.1
25年	0.0	0.1	△0.6	△1.8	3.6	△0.3	0.9	△0.2	1.5	0.4	△1.5	1.2
26年	2.3	2.1	3.9	△0.7	5.2	1.1	2.8	1.4	2.6	1.4	2.5	3.1
〃(全国)	2.8	2.6	3.8	0.0	6.2	3.8	2.1	1.0	2.6	1.8	3.6	3.6

注) 年平均

の上昇となりました。

②住居 ウエイトの大きい「家賃」が0.8%下落し、全体で0.7%下落となっています。

③光熱・水道 「電気代」が7.1%上昇、「ガス代」も4.7%上昇し全体で5.2%の上昇となっています。

④家具・家事用品 ウエイトの大きい「家庭用耐久財」（電気冷蔵庫，ルームエアコン等）が2.8%上昇し、全体で1.1%の上昇となりました。

⑤被服及び履物 「履物類」が10.3%上昇し、全体は2.8%上昇となりました。

⑥保健医療 「保健医療用品・器具」（生理用ナプキン，眼鏡等）が3.2%上昇し、全体で1.4%の上昇となっています。

⑦交通・通信 ウエイトの大きい「自動車等関係費」が2.2%上昇し、「交通」（鉄道運賃，高速道路料金等）も5.7%上昇し、全体は2.6%上昇となりました。

⑧教育 ウエイトの大きい「授業料等」が1.0%上昇し、「補習教育」も2.3%上昇し、全体で1.4%上昇となっています。

⑨教養娯楽 「教養娯楽用品」（運動用具，切り花等）が5.3%上昇，ウエイトの大きい「教養娯楽サービス」（宿泊料・月謝類等）が1.1%上昇し、全体は2.5%上昇となっています。

⑩諸雑費 「他の諸雑費」（傷害保険料等）が4.0%上昇し、全体で3.1%の上昇となりました。（表2）

表2 中分類別指数

(平成22年=100)

分類	ウエイト	平成25年	26年	前年比(%)	分類	ウエイト	平成25年	26年	前年比(%)
総	10 000	99.6	101.9	2.3	被服関連サービス	25	93.8	97.7	4.2
食	2 479	98.8	102.7	3.9	保健医療	466	97.3	98.7	1.4
穀類	211	102.7	103.4	0.7	医薬品・健康保持用摂取品	140	93.0	94.6	1.7
魚介類	205	95.8	104.5	9.1	保健医療用品・器具	91	96.7	99.8	3.2
肉類	218	95.4	99.4	4.2	保健医療サービス	235	100.0	100.8	0.8
乳卵類	101	102.7	108.5	5.6	交通・通信	1 404	103.3	106.0	2.6
野菜・海藻類	267	92.6	97.0	4.8	交通	262	101.3	107.1	5.7
果物	80	94.6	97.6	3.2	自動車等関係費	753	105.5	107.8	2.2
油脂・調味料	107	98.0	102.3	4.4	通信	388	100.6	101.9	1.3
菓子類	216	98.7	103.0	4.4	教育	367	99.4	100.8	1.4
調理食品	242	103.4	108.7	5.1	授業料等	260	98.8	99.8	1.0
飲料	127	96.4	97.9	1.6	教科書・学習参考教材	6	105.9	108.3	2.3
酒類	134	95.8	97.1	1.4	補習教育	100	100.6	102.9	2.3
外食	571	102.2	105.0	2.7	教養娯楽	1 053	94.3	96.7	2.5
住居	2 042	98.8	98.1	△0.7	教養娯楽用耐久財	117	60.6	64.8	6.9
家賃	1 955	98.8	98.0	△0.8	教養娯楽用品	193	98.5	103.7	5.3
設備修繕・維持	87	97.9	99.6	1.7	書籍・他の印刷物	129	101.0	103.4	2.4
光熱・水道	666	108.7	114.3	5.2	教養娯楽サービス	613	98.1	99.2	1.1
電気代	277	112.5	120.5	7.1	諸雑費	687	104.8	108.1	3.1
ガス代	212	108.9	114.0	4.7	理美容サービス	125	100.7	103.0	2.3
他の光熱	14	131.2	139.1	6.0	理美容用品	144	98.8	100.8	2.0
上下水道料	163	100.0	101.9	1.9	身の回り用品	90	102.8	105.6	2.7
家具・家事用品	394	88.9	89.9	1.1	たばこ	64	126.2	130.3	3.2
家庭用耐久財	170	78.8	81.0	2.8	他の諸雑費	265	105.7	109.9	4.0
室内装備品	29	87.3	83.2	△4.7	生鮮食品	374	91.8	98.1	6.9
寝具類	24	94.2	88.6	△5.9	生鮮食品を除く総合	9 626	99.9	102.0	2.1
家事雑貨	74	99.8	101.8	2.0	持家の帰属家賃を除く総合	8 767	99.6	102.3	2.7
家事用消耗品	80	97.0	97.1	0.1	持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	8 392	99.9	102.5	2.6
家事サービス	16	99.5	106.8	7.3	エネルギー	686	113.3	119.2	5.2
被服及び履物	444	98.7	101.5	2.8	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6 970	98.4	99.8	1.4
衣料	202	102.4	103.4	1.0	教育関係費	427	100.1	101.3	1.2
シャツ・セーター・下着類	124	99.9	102.4	2.5	教養娯楽関係費	1 180	95.1	97.4	2.4
履物類	59	91.4	100.8	10.3	情報通信関係費	497	97.6	99.4	1.8
他の被服類	33	88.2	91.1	3.3					

3. 年間の動き

消費者物価指数の年間の動きを見ると、総合指数は9月の103.3が最も高く、1月と2月の99.8が最も低くなっています。

10大費目別にみますと、「食料」は1月から3月にかけて下落した後、4月以降上昇に転じ、9月にピークとなりました。

「光熱・水道」は、1月～4月は緩やかに上昇し、5月に前月の112.0から116.4へ急上昇し、6月にピークを迎えた後は12月まで緩やかに下落しました。

「被服及び履物」は、冬と夏に谷となる傾向があります。

また、「住居」を除くすべての費目で、4月は前月比増加となりました。

(表3, 図2)

4. 大都市の状況

20大都市(数値が公表されていない相模原市を除く政令指定都市及び東京都区部)の消費者物価指数を見ると、総合指数が最も高いのは札幌市の103.8で、最も低いのは東京都区部の101.4となっており、福岡市は101.9で2番目に低い数値となっています。

また、前年比では、仙台市が3.0%の上昇と最も高く、東京都区部、横浜市、福岡市の2.3%が最も低い数値となりました。(表4)

* * * *
消費者物価指数の詳細は、総務省統計局のホームページでご覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/>

図2 消費者物価指数(10大費目)の月別推移

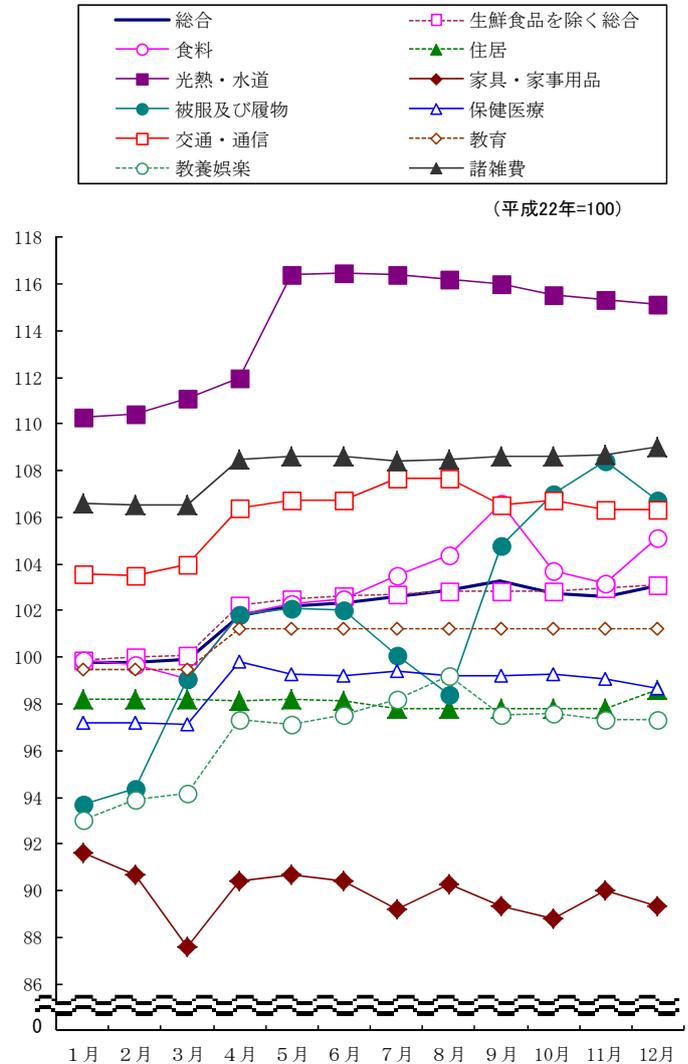


表3 消費者物価指数(10大費目)の月別推移

平成26年	(平成22年=100)											
分類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	99.8	99.8	99.9	101.8	102.2	102.3	102.6	102.9	103.3	102.7	102.6	103.1
生鮮食品を除く総合	99.9	100.0	100.1	102.2	102.5	102.6	102.7	102.8	102.8	102.8	103.0	103.1
食料	99.9	99.7	99.1	101.8	102.3	102.5	103.5	104.4	106.6	103.7	103.2	105.1
住居	98.2	98.2	98.2	98.1	98.2	98.1	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	98.6
光熱・水道	110.3	110.4	111.1	112.0	116.4	116.5	116.4	116.2	116.0	115.5	115.3	115.1
家具・家事用品	91.6	90.7	87.6	90.4	90.7	90.4	89.2	90.3	89.3	88.8	90.0	89.3
被服及び履物	93.7	94.4	99.1	101.8	102.1	102.0	100.1	98.4	104.8	107.0	108.4	106.7
保健医療	97.2	97.2	97.1	99.8	99.3	99.2	99.4	99.2	99.2	99.3	99.1	98.7
交通・通信	103.6	103.5	104.0	106.4	106.7	106.7	107.7	107.7	106.5	106.7	106.3	106.3
教育	99.5	99.5	99.5	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2	101.2
教養娯楽	93.0	93.9	94.2	97.3	97.1	97.5	98.2	99.2	97.5	97.6	97.3	97.3
諸雑費	106.6	106.5	106.5	108.5	108.6	108.6	108.4	108.5	108.6	108.6	108.7	109.0

表4 大都市の消費者物価指数（10大費目）

平成26年

(平成22年=100)

都市	総合	生鮮食品 を除く 総合	食料	住居	光熱・ 水道	家具・ 家事 用品	被服及 び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
全 国	102.8	102.7	103.4	99.1	119.3	93.1	102.2	99.0	105.6	100.6	97.0	108.6
札 幌 市	103.8	103.6	105.4	98.6	118.8	96.9	101.1	99.2	104.9	100.6	99.8	111.7
仙 台 市	102.5	102.4	103.0	99.3	119.1	86.5	101.0	98.5	105.0	99.1	96.7	110.3
さいたま市	103.7	103.6	104.3	99.8	122.7	91.6	107.0	99.3	105.1	100.4	100.1	107.1
千 葉 市	102.3	102.2	102.6	97.9	122.3	93.2	101.6	99.7	105.4	103.0	97.8	108.5
東京都区部	101.4	101.3	101.5	98.1	121.7	89.6	101.6	99.2	103.3	102.8	96.8	107.1
川 崎 市	102.1	102.1	102.3	98.5	121.7	91.6	106.0	97.7	103.6	102.0	97.9	107.7
横 浜 市	102.2	102.1	102.8	98.0	121.4	92.3	106.2	99.1	103.3	101.3	98.7	107.9
新 潟 市	102.8	102.7	104.6	98.2	117.0	99.2	104.8	96.1	105.8	98.6	92.8	107.6
静 岡 市	103.2	103.1	105.2	99.6	115.4	101.7	103.2	99.1	105.1	103.6	95.4	107.5
浜 松 市	102.5	102.5	103.6	96.2	118.0	97.3	102.8	99.9	106.1	100.2	96.8	108.3
名 古 屋 市	102.6	102.3	104.0	99.2	116.8	95.2	99.8	99.4	104.9	101.0	97.1	108.1
京 都 市	103.5	103.3	104.2	100.3	120.6	92.8	104.0	99.6	104.6	100.6	99.2	108.8
大 阪 市	102.2	102.2	102.4	99.7	120.2	89.1	100.9	98.3	103.0	99.8	96.6	109.2
堺 市	102.4	102.3	103.0	100.5	117.9	82.7	102.8	99.0	105.2	98.0	96.8	109.6
神 戸 市	102.3	102.3	100.7	101.5	119.1	101.2	102.1	98.3	102.5	101.7	97.8	107.6
岡 山 市	102.6	102.4	105.8	99.8	112.1	93.9	102.4	98.6	105.2	99.7	95.6	105.7
広 島 市	102.2	102.0	104.0	99.0	112.7	94.1	103.4	99.7	104.1	98.1	95.7	108.4
北 九 州 市	102.7	102.7	102.9	99.8	115.7	96.6	104.5	99.2	105.9	99.6	95.5	108.2
福 岡 市	101.9	102.0	102.7	98.1	114.3	89.9	101.5	98.7	106.0	100.8	96.7	108.1
熊 本 市	102.0	101.8	101.8	99.2	114.9	87.2	97.6	101.2	105.9	100.4	97.5	108.6
前 年 比 (%)												
全 国	2.8	2.6	3.8	0.0	7.0	3.4	2.1	1.0	2.7	1.8	3.4	3.8
札 幌 市	2.8	2.8	3.6	0.1	6.9	4.4	2.9	0.7	2.4	1.5	4.0	3.8
仙 台 市	3.0	2.9	3.9	0.2	8.1	2.2	1.3	1.1	2.4	1.2	3.5	4.1
さいたま市	2.9	2.7	4.2	0.4	7.2	1.3	1.0	0.8	2.6	2.4	3.7	4.1
千 葉 市	2.7	2.5	4.3	0.2	6.7	2.7	2.1	1.1	2.6	1.4	2.8	4.2
東京都区部	2.3	2.1	3.3	△0.2	6.3	2.9	1.8	0.7	2.4	2.3	3.5	3.9
川 崎 市	2.4	2.3	3.1	0.0	6.2	5.3	3.1	1.0	2.3	1.8	3.4	3.4
横 浜 市	2.3	2.2	3.6	△0.4	6.0	4.3	2.5	0.9	2.4	1.7	3.4	3.5
新 潟 市	2.9	2.7	4.4	△0.3	7.3	3.3	2.3	△0.2	2.6	0.8	2.9	3.4
静 岡 市	2.8	2.7	3.9	△0.5	7.1	6.5	2.2	1.2	2.8	2.8	3.8	3.2
浜 松 市	2.6	2.5	3.4	△0.8	7.4	5.2	2.6	1.1	2.5	1.8	4.0	3.5
名 古 屋 市	2.7	2.5	3.6	0.1	7.1	3.0	2.4	0.8	2.9	1.3	3.5	3.4
京 都 市	2.9	2.7	4.1	0.1	8.2	2.3	1.7	1.1	2.5	1.5	3.8	4.6
大 阪 市	2.4	2.3	2.9	0.0	7.8	2.8	1.7	0.7	2.0	1.4	3.5	4.0
堺 市	2.8	2.6	3.8	0.2	7.3	2.3	2.9	0.7	2.6	1.6	3.4	4.1
神 戸 市	2.4	2.3	3.0	△0.1	7.4	4.8	1.6	0.9	2.5	0.9	3.6	3.9
岡 山 市	2.5	2.3	4.9	△0.4	4.7	2.0	1.9	0.4	2.4	1.3	3.3	2.9
広 島 市	2.5	2.3	4.3	0.1	4.8	1.9	2.0	1.1	1.8	△0.6	3.0	3.7
北 九 州 市	2.8	2.7	3.9	0.6	6.2	5.0	2.5	1.0	2.2	2.0	2.4	4.1
福 岡 市	2.3	2.1	3.9	△0.7	5.6	1.0	2.8	1.4	2.7	1.4	2.4	3.3
熊 本 市	2.9	2.7	4.3	△0.3	6.3	2.3	0.2	1.8	3.3	1.6	4.0	3.9